

教科	音楽科	学年	第1学年	担当者	山本美保
----	-----	----	------	-----	------

【教科目標】

表現及び鑑賞の幅広い活動を通して、音楽を愛好する心情を育てると共に、音楽に対する感性を豊かにし、音楽活動の基礎的な能力を伸ばし、豊かな情操を養う。

【使用教科書・教材等】

・教科書（「中学生の音楽1」教育芸術社・「中学生の器楽」教育芸術社） ・ワークブック（「ミュージックスタディ」学宝社）
 ・アルトリコーダー ・ファイル

【学習計画】

学期	単元名	学習のねらい（身につけたい力）	準備物
1 学 期	<ul style="list-style-type: none"> ・ 明るい声 「校歌」 「We'll Find The Way」 ・ 曲のまとまり 「主人は冷たい土の中に」 「その先へ」 ・ 色々な音楽 「映画音楽」 「春」「魔王」 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 新しい仲間と歌う喜びを分かち合うことができる。 ○ 姿勢、口の形、発声や響かせ方などの特徴を生かしてのびのび歌うことができる。 ○ フレーズのまとまりや伴奏の違い、形式を理解し、それらの特徴を感じ取ることができる。 ○ 強弱や歌い方など、曲のまとまりを表現するための工夫をすることができる。 ○ 楽器や声の音色、リズム、旋律との関わり合い、楽曲の雰囲気や曲想を感じ取って聴くことができる。 ○ 映画の場面や登場人物の心情とのかかわりを感じてきくことができる 	教科書 ワークブック アルトリコーダー ファイル DVD
2 学 期	<ul style="list-style-type: none"> ・ 合唱の響き 「合唱コンクール曲」 ・ 心の歌 「赤とんぼ」 「浜辺の歌」 ・ 伝統音楽「越天楽」 	<ul style="list-style-type: none"> ○ パートの役割を感じ取り、全体の響きに気を付けて合唱することができる。 ○ 仲間と共にひとつのものを創りあげることができる。 ○ 歌詞の内容や曲想を感じ取って、表現を工夫することができる。 ○ 日本の伝統音楽を知りよさや美しさを味わうことができる 	楽譜 教科書 ワークブック アルトリコーダー ファイル CD
3 学 期	<ul style="list-style-type: none"> ・ ・ 日本の民謡 ・ アジアの諸民族の音楽 ・ 日本の音楽 「六段の調」 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 日本各地の音楽を聴き特徴を知りよさや美しさを味わうことができる ○ アジア各地の音楽に触れ、音楽や音色の特徴を感じとる ○ 日本の楽器の響きを感じとって、表現を工夫することができる 	教科書 DVD フラッシュカード ワークブック アルトリコーダー ファイル

【評価の観点と評価の方法】（通知票のつけ方）

評価の観点	音楽的知識・技能 33%	思考・判断・表現 33%	主体的に学習に取り組む態度 33%
評価の観点の趣旨	曲想と音楽の構造・背景などとの関わり、音楽の多様性を理解し創意工夫を生かした音楽表現をするための技能を身に付けている。	音楽を形づくっている要素を知覚し雰囲気を受しながら音楽表現を工夫し、よさや美しさを評価し鑑賞している。	日本の伝統や音楽文化に親しみ、音楽活動を楽しみながら次の学習への見通しをもって主体的-協働的に学習に取り組もうとしている。
評価の方法	<ul style="list-style-type: none"> ・ 実技テスト ・ 筆記テスト・レポート 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 実技テスト ・ ワークシート・レポート ・ ワークシート〔鑑賞〕 ・ 自己評価・相互評価 	<ul style="list-style-type: none"> ・ レポート ・ 自己評価〔振り返りシート〕 ・ 行動観察

【授業の受け方・学習のポイント】（担当の先生からのアドバイス）

1、授業に必要な持ち物をしっかりそろえましょう。
 2、歌を歌うときは、姿勢や発声法を意識し、のびのびとよい表情で歌えるよう頑張りましょう。
 3、アルトリコーダー奏では、楽譜を読んだり運指の確認を粘り強く取り組み、音色を意識して演奏しましょう。
 4、鑑賞では説明をしっかり聞き、楽器の音色や作曲者の思いを考えながら聴きましょう。
 5、合唱活動では、音程を早く覚えるためにパート練習に集中し、自分から声を出しクラスの仲間と協力してひとつのハーモニーを創りましょう

【家庭学習の進め方・学習のポイント】（担当の先生からのアドバイス）

1、授業で学習した歌唱曲や器楽曲を自主的に練習しましょう。
 2、自分のパートを覚えるために意欲的に練習しましょう。そして音程を早く覚え、のびのび歌えるようにしましょう。
 3、実技テストに向けて、しっかり練習しましょう。
 4、普段の授業では聴くことができない音楽がたくさんあるので、CDやテレビやインターネットを利用して、色々な音楽を聴きましょう。また音楽会に行く機会を大切に、音楽の美しさや授業で触れることができない感動を味わいましょう。